

改善に向けた事業者のコメント	<p>開設から20年、前回の第三者評価受審から約10年が経過しています。日々、ご利用者の変化(加齢・重度化)に対応する支援の質を求められています。日中活動優先から介護重視にシフトしつつある現状を把握し、障がい福祉分野のスペシャリストを基軸に介護技術・医療・管理栄養を付随することで、ご利用者の満足度に繋がると考えています。</p> <p>また、ご利用者・ご家族・事業所間の幅広い意見を頂く工夫をし、事業運営に反映しご利用者・職員共々活性化していきたい。</p>							
短中長期	No	課題・改善点	達成目標	期間	開始時期	達成時期	具体的改善策 (人・予算・情報・手順等)	担当
短期間で出来ること	③	利用者の意見聴取のあり方。	多くの意見を支援に活かす。	1年	2022年4月	2023年3月	1 意見箱の活用と定期的な見直し ② 利用者が自治会などを通して意見の出しやすい環境を工夫し、利用者の意見を活かす。	主任及び担当スタッフ
	④	各事業所内での定期的な意見聴取。(年1回)	利用者が満足できる生活環境の構築	1年	2022年4月	2023年3月	1 各事業所内でのアンケート配布。(利用者・家族) 2 アンケート集約 3 改善策の検討 4 実施	主任
中・長期間でできること	①	事業計画は利用者のQOLを目的とした支援計画と捉えること。	事業計画を支援計画に反映する。	2年	2023年4月	2025年3月	①事業計画と支援計画についての理解 ②PDCAサイクルの理解	主任 支援員
	②	事業計画の見直し	中・長期計画内容に沿った事業計画、支援目標の作成	2年	2023年4月	2025年3月	① 中・長期計画、各項目の具体的な目標を設定 ② 目標を達成する為の具体的な行動を設定 ③ 目標達成の為の施設行事、班活動内容を設定 ④ 目標達成の為の個別支援の設定	施設長及び全スタッフ
今後検討すること								